

後吉郎交山口奉行修理

附智伏猪匠



繪本豊臣勲功記初編卷之四

江戸 八功社 徳水刪補

本中後吉郎勲功家 属 登奉仍儀

惣小あらし老懸おかしと。周文が田の獲おより百倍の多
小牧山の英雄と小猿と称するも鳥狩おあれど結句せん。
茲小若臣和合せる天機熟しく。不思議おも上様女信長と
後吉郎が大膽お勇意を投とく慕忌せり。當日はあまご陽も
福山小晴くくとく落ざるうち清洲の城よ還らせむひ。よやく
聲を唱出され。遠節るおすれ寝夜あふ言出よと命せを
うけ。徳を召これと情檢し。いづれも寝夜あふ言出よと命せを
うけ。後吉郎が言とて。駿率後井又ち桑つが幼下よ